

10 デジタル

基本情報



【年 齢】
25歳
【出身地】
北海道神恵内村
【転出元】
北海道札幌市
【前 職】
会社員（自動車整備士）
【活動時期】
R4.4～R6.3

協力隊に応募したきっかけ

地元である神恵内村に帰ってこようとした時に、地域おこし協力隊の存在を知って、地域のためになる活動や地域の人と触れ合えるような活動を行ってみたいと思い応募しました。

元村民という点もあり、村になじんでいけるかという心配が少なかったのも応募に至った要因の一つでもあります。

今後の抱負・任期後の目標

これまでは、地域コミュニティツールである「かもえないチャンネル（通称：かもチャン）」を高齢者の方々に使っていただけるように活動してきましたが、今後は若い世代や子供たちに使っていただけるような取り組みを行っていきたいです。

また今後は、「かもチャン」をうまく活用しながら、地域コミュニティをより活性化できるような活動もしていきたいと考えています。

活動内容

●DX事業のサポート

神恵内村で行っている様々なDX事業の現地サポートを行っています。

神恵内村では富士通Japan(株)に委託し、「コミュニティDX」や「教育DX」などのDX事業を行っており、デジタルの導入に伴う現地の課題などを共有し、よりよく改善されるための活動を行っています。



●コミュニティDX

「コミュニティDX」の事業で導入した地域コミュニティツール「かもえないチャンネル（通称：かもチャン）」の導入補助や操作説明、「かもチャン」を使用したイベントの実施、利用状況の集計などを行っています。



●教育DX

富士通Japan(株)の社員が小・中学校に来てプログラミングの授業を行ったり、オンライン授業を行ったりしているのでそのサポートをしています。

また、「かもチャン」を使用した授業の接続サポートなども行っています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

（メールアドレス（職場））kikaku-3@vill.kamoenai.hokkaido.jp
（電話番号（職場））0135-76-5011

基本情報



【年 齢】
27歳
【出身地】
神奈川県逗子市
【転出元】
神奈川県逗子市
【前 職】
プログラマー
【活動時期】
R3.10～R6.9

協力隊に応募したきっかけ

前職では約2年間、Web・ITサービスの分野でサービス開発やプログラマーなどの業務をしておりました。プログラマーとして歩む上で、自分に足りないものや時代の変化に対応するためにどうすればいいか思案していたところ、大学時代から関心のあったファブラボの地域おこし協力隊募集を見かけすぐさま応募。熱心に担当者へ想いを伝えて着任することとなりました、

今後の抱負・任期後の目標

現在は「地域課題プロジェクト」として、町民の困りごとをデジタルファブリケーションの文脈から解決しようと試みています。自分は現場を後方から支援する「椅子の男」と呼ばれるポジションに憧れを持っていて、幼少の頃から家族や周りに支えられていたこともあって、今度は自分がそうなりたいなと思っています。自分はいくまで裏の人としてスキルを活かし栗山で活動する人を支えられる人になりたいです。他者から要求される課題について「(IoT分野では特に)何でも作れる」スキルを習得して活動したいです。

活動内容

●自動分別機「AIソーター」の制作

地域課題調査で、栗山町はごみの分別種類が多いため、リサイクルセンターの作業員の方がごみを人力で再分別していました。その課題解決のため、カメラで画像認識したものを事前に学習させたAIによって仕分けをする「AIソーター」を制作しました。ゴミの分別の他、ペットボトルキャップの色分けや野菜の規格分けに使用できるよう考えました、



●安全操作講習インストラクター

ファブラボ栗山内の工作設備の使い方と、安全に利用するためのルールをお伝えする安全操作講習のインストラクターをしています。レーザー加工機、3Dプリンターの講師をしております。



●地域課題プロジェクト「地縁技融」

ものづくりで栗山町の課題を解決するためのオープンプロジェクトです。地域の人々や資源等とデジタル技術とを融合して新たな価値や創造性を生み出せるよう活動しています。その第1弾として町内在住の電子音楽ユニット「木箱」とコラボし、『フレキシトーン』という電子楽器を制作しました。町内の農家さんと連携して、ビニールハウスでも使用できるIoTデバイスも開発しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) info@fablabkuriyama.jp (電話番号) 0123-76-7787

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(Instagram)



(Facebook)



基本情報



【年 齢】
28歳
【出身地】
北海道札幌市
【転出元】
北海道札幌市
【前 職】
広告代理店 営業
【活動時期】
R5.7～R8.6

協力隊に応募したきっかけ

大学時代を十勝で過ごし、部活で熱気球に関わっていたことから、もともと上士幌町に関心を持っていました。今年の2月に札幌で行われた『地方で働くこと』をテーマとした交流イベントに参加した際に、上士幌町の取り組みを知り、その中でICTを活用したまちづくりに特に興味を持ちました。地域おこし協力隊になることで、地域の人達と関わりながら、社会に貢献していると感じながら働くことができると思い応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

ICTを活用した上士幌町の取り組みやそのサービスの利便性を向上させるとともに、デジタル分野が苦手な方や抵抗がある方も誰一人取り残さないように、町民の方と町の取り組みを繋げる役割を担っていきたいと思っています。

現在、任期が終了した後の具体的な目標は定まっておられません。3年間の活動を通して、自分が生涯続けたいことを見つけたいと思っています。

活動内容

●域内のITリテラシー向上

マイナンバーカードの保険証利用やマイナポータルの使い方について、町民向けに説明会を行っています。身近な問題の提起から実際に触れていただく体験型の構成にし、スマホの操作は地元の高校生に手伝っていただくことで、楽しみながらデジタルに親しんでいただけるように工夫しています。



●窓口業務DX

現状の課題を洗い出すため、窓口業務を担当している職員にヒアリングを行い、ライフイベント毎の申請や手続き業務のプロセスマップを作成しました。また、担当者間で共通の問題意識を持つことや、職員目線での課題を引き出すことを目的に職員研修を行いました。



●町内サービスポータルサイトと官民データ連携基盤構築

官民データ連携基盤を活用して、町内サービスの利便性向上を図るとともに、利用者向けにポータルサイトの周知活動を行っています。また、町民の利便性の向上とともに職員の業務負担を軽減するため、町内施設の予約サービス導入を検討しており、予約から利用までのフローチャートの作成等準備を進めています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) ict@town.kamishihoro.hokkaido.jp
(電話番号) 01564-7-7230

基本情報



【年 齢】
46歳
【出身地】
岩手県岩泉町
【転出元】
岩手県盛岡市
【前 職】
個人事業
(ソフトウェア開発)
【活動時期】
R3.4～

協力隊に応募したきっかけ

知人の紹介をきっかけに岩泉町と総務省のウェブサイトにて情報を収集。

今後の抱負・任期後の目標

町の課題を解決しつつビジネスモデルを確立したい。

活動内容

●遠隔監視・捕獲検知装置の開発

モバイル回線を用いて有害鳥獣捕獲罠の監視・捕獲検知を行う独自の装置を開発し特許を取得。
本装置は令和5年に開催された、第59回岩手県発明くふう展で特賞となる東北経済産業局長賞を受賞。



●ドローンによる捕獲罠管理実験

レベル4飛行実現に向け、有害鳥獣捕獲罠の管理を自動航行のドローンで行うための模擬実験を実施。



●鳥獣被害対策ネットワークの構築

遠隔監視・捕獲検知装置を用い、遠隔地の従事者が相互に作業を分担することを可能とするソーシャルネットワークシステムの開発。
行政と従事者をICTで繋ぎ円滑な連携を可能とするシステムの開発。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス(個人)) hiroyuki@sawasato.com
(電話番号) 0194-22-2111 (内406)
(岩泉町役場 政策推進課 政策推進室)

基本情報



【年 齢】
22歳
【出身地】
山形県川西町
【転出元】
東京都杉並区
【前 職】
大学生
【活動時期】
R4.8月～

協力隊に応募したきっかけ

単なる操作の上手い下手だけではなく、立ち回りによって戦況を変化させることができる競技性や、日々の努力の末に強い相手に勝ち勝った際に得られる大きな喜びや達成感など、それまでには感じることのなかった競技性の奥深さから、「eスポーツ」という競技について関心を持つようになり、eスポーツを通じて長井市のスマートシティ化やそれを担う人材育成に貢献したいと感じたことがきっかけです。

今後の抱負・任期後の目標

まず1年間活動して、学生や若い年齢層の方にはeスポーツに対する理解が得られたと感じています。実際にNe-stの利用者は20歳以下が最も多く、大会への参加者についても同様です。しかし、それ以外の年齢層への働きかけが不十分であることもまた事実だと感じています。そのため今後は、eスポーツをプレイする楽しさはもちろんのこと、その他にも大会を観戦する楽しさや奥深さについての魅力も発信していきたいです。また、企業や社会人向けのeスポーツメニューを拡充し、幅広い年代でeスポーツに関わりを持ち地域活性化に役立つような未来を目指し活動していきたいです。

活動内容

●小規模コミュニティ大会（ACC）の開催

取得が難しいとされるゲームのカスタムサーバー権限を取得し、Aspirant Challenger Cupという名のコミュニティ大会を3度開催しました。

参加者から多くの反響の声をいただいております、今後も定期的に開催していきたいです。

また、優勝景品に長井市の地場産品などを用いるなど、長井市の知名度向上も同時に行いたいです。

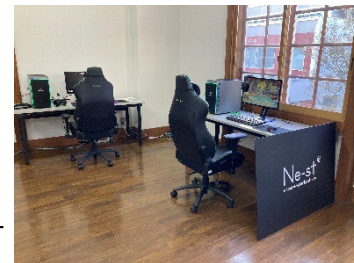


●地域イベントへの協力

旧長井小で開催されたゲームの日イベントにeスポーツのブースを出展させていただき、ゲーミングPCの体験会を開催しました。

計152名の方に体験いただき、eスポーツの認知向上に貢献することができたと感じています。

今後も積極的に地域のイベントと協力し、eスポーツの普及に努めていきたいです。



●やまがたデジタルこどもラボの運営

今年度より、デジタルに触れるきっかけを提供し、将来の選択肢を広げることを目的としたクラブ「やまがたデジタルこどもラボ」を開始しました。

これまでに動画編集やマイクラフトを活用したプログラミングなどを行っています。会員数が1名と少し寂しいので、今後会員数を増やしていけるよう頑張ります。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

（メールアドレス）n-chiiki@city.nagai.yamagata.jp

（電話番号）0238-82-8005

基本情報



【年 齢】
29歳
【出身地】
群馬県伊勢崎市
【転出元】
東京都八王子市
【前 職】
都市計画コンサルタント
【活動時期】
R4.6～R7.5

協力隊に応募したきっかけ

数年前に偶然訪れたことがきっかけで、遊佐町の人や環境に惹かれ、夫婦で毎年遊びに来ていました。毎年通う度に、遊佐町内に知り合いが増えていき、ある回に「なんで東京に帰んなきゃいけないんだ？」と思ってしまったことが移住思考にシフトしたきっかけだったと思います。
頼れる存在が何人もいたことで、「ここなら移住しても大丈夫」という安心感があったことが決断の決め手でした。

今後の抱負・任期後の目標

任期後には古道具店兼カフェを営みたいと思っているので、応援される立場になれるよう、協力隊任期中になるべくたくさんの地元の方に認知してもらい、仲良くなることを頑張りたいです。（協力隊制度は、任期中に地元との関係性を作れるので、ポッと出で開業するよりだいぶスタートしやすいと思っています。）

活動内容

●スマホ道場

スマホについてわからないことを一対一で相談できる「スマホ道場」を2022年10月から実施しています。週2日程度の頻度で開催し、これまでにのべ650名の門下生が通ってくれています。スマホ道場を通して、野菜のおすそ分けをいただいたり、趣味のサークルに誘っていただいたり、地元の方とのつながりを作る場になっています。



●こどもたちのデジタル学習

こどもたちに人気のゲームソフト「マイクラフト」の教育版を使って、地元の小中学生を対象に、プログラミング教室を実施しました。



●森のインスタレーション

協力隊活動とは別に、移住前からお世話になっている地元のカフェのマスターと、「森のインスタレーション」というイベントを自主企画しました。こどもたちが描いた絵を森の中に飾ったり、森の中で音楽会や朗読会をしたりしました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

（メールアドレス（個人））m-watanabe@yuzamachi.com

（電話番号（職場））0234-72-5893（遊佐町役場総務課ICT推進室）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

（スマホ道場）<https://sites.google.com/view/yuzamachi-smapho>

（来ちゃいなよ。ゆざまち）<https://yuzamachi.com/>

基本情報



【年 齢】
33歳
【出身地】
福島県郡山市
【転出元】
神奈川県横浜市
【前 職】
編集者、ライター
【活動時期】
R4.4～
(育休1年取得)

協力隊に応募したきっかけ

子育てをきっかけに、地域で仕事をしたいと思ったため。地域の仕事を探しているとき、真岡市の募集内容を見て、自分のスキルを活かして地域に貢献できるのではないかと考え応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

- ・子育て世代が子育てしやすく、より楽しくなるような情報を発信したり、「こんなのがほしい」と思うことをカタチにしたりしていきたいです。
- ・真岡のさまざまなひと、もの、ことを取材して、真岡って良いなー！と伝えられるような本をつくりたいです。

活動内容

●まちづくりに取り組む方のインタビュー記事制作

真岡でまちづくりに取り組む方々を取材・撮影して記事を月2本程度つくり、市ホームページや広報誌、noteに掲載しています。半年で16本公開。個々人のプロフィール的に活用いただくことに加え、市内外の認知度向上、つながりの構築を目指しています。



●子育て世代向けメディアの運営

地域特有の子育て向けの取り組みや、先輩からの知見をより伝わりやすくするため、真岡の子育て世代向けのメディアをつくりました。真岡で暮らしたり働いたりしている仲間と、情報誌の発行、Instagramの運用をしています。実際に取材をして、子育て世代の目線で情報発信中！



●真岡まちづくりプロジェクト

高校生～大人のメンバーが集まり、市内の「もったいない」ものを活かし、それぞれの「やりたい」をかなえていくプロジェクトに参加しています。2022年グッドデザイン賞を受賞しました。特に廃棄本の利活用や、図書館と連携したイベント開催などの活動をしています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
真岡市プロジェクト推進課
(メールアドレス) project@city.moka.lg.jp
(電話番号) 0285-83-8059
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
note <https://moka-city.note.jp/>
Instagram @moka_baton



note



Instagram

基本情報



【年 齢】
27歳
【出身地】
神奈川県愛川町
【転出元】
神奈川県愛川町
【前 職】
愛川町役場
【活動時期】
R5.8～

協力隊に応募したきっかけ

以前よりeスポーツの競技シーンや観戦が好きで、競技選手を目指していた時期もあり、eスポーツに携わることのできる仕事を探していたところ、長岡市でeスポーツを活用した地域活性化に向けて協力隊を募集していることを知り、自分にも力になれることがあるのではないかと思います、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

任期中には多くのeスポーツイベントや対戦会などを多く開催し、普段行政とあまりかかわることのない学生や若者を中心にコミュニケーションを取りながら、「長岡市といえばeスポーツ！」といわれるような街づくりを行ってきたいです。
任期後については地域おこし協力隊の任期中に得た経験や知識、人脈を活かし長岡市内でeスポーツ施設の運営に携わりたいと考えています。

活動内容

●e-スポーツスペース e-GATE 運営

令和5年6月より寺泊地域と栃尾地域の公共施設内に開設されたeスポーツスペースの管理運営を行っています。利用者との情報交換や操作サポート、定期的なPCのメンテナンスを行っています。



●e-GATE 受付システムの構築

e-GATEの会員制度とQRコードでの利用受付、利用者統計も取れるシステムを検討中です。



●eスポーツの普及

地域で開催されるイベントの中で、eスポーツ体験ブースを運営しています。多くの方からeスポーツを体験していただくことで、eスポーツの良さを地域に伝え、eスポーツの普及を推進していきます。



●子どもたちと一緒にゲーム内に街並みづくり

地域の子どもたちと協力して、ゲーム内に実際の街並みを作り、イベントで披露しました。宝探しの仕掛けを盛り込み、お子さんから大人まで幅広い年代の方に楽しんで頂くことができました。



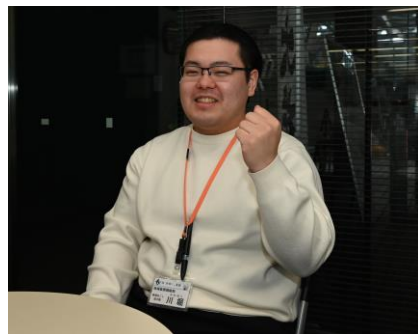
連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス(個人)) uchibori.chiikiokoshi@gmail.com
(電話番号) 0258-39-2515(長岡市役所 地域振興戦略部)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://x.com/eGATE_NAGAOKA



基本情報



【年 齢】
25歳
【出身地】
埼玉県春日部市
【転出元】
愛媛県松山市
【前 職】
学生
【活動時期】
R5. 7～

協力隊に応募したきっかけ

新潟県長岡市には、大学院進学を機に転入。大学院で研究生生活を送る上で、長岡市の学生と企業が繋がるイベント等に参加した際に、大学での専門分野（工学系）以外のことで自分にできることはないか模索し、地域おこし協力隊を発見。長岡市の中山間地域でのデジタルデバイドが生じており、特に豪雪地帯である長岡市の雪のシーズンはその問題が顕著であることに對して自分でもできることを！と思い応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

今後の抱負として、中山間地域のIT機器の普及を通じて市内がオンラインでつながることを目標としています。また、その普及活動でのつながりを大切にし、デジタルだけに頼らず、コミュニケーションを取りながら地域との連携をしていきたいです。

任期後には長岡に定住し、長岡市や長岡市民の新たな交流や繋がりを提案できるような活動をしていく予定です。

活動内容

●中山間地域のシニア向けスマホ教室

Google検索（音声、カメラ）を用いてシニアへスマホでできることの提案。特に、「ガラケーからスマホに買い替えたいけど、スマホが分からない」などの声に対して、スマホへの抵抗を少しでも減らし、スマホを携帯してもらうように教室を開催しています。

また、スマホのセキュリティについてやLINEを用いたスマホでのコミュニケーションの取り方、オンラインでのスマホの活用について授業。定期的にスマホ出張相談も実施しています。



●アレクサやZOOMなどを用いて中山間地域と旧長岡市を繋ぐ

支所地域の手続きのオンライン化が検討されている中、シニアはオンラインで話す（画面に向かって話す）ことに慣れていないため、スマホの困りごと相談を題材にしています。遠隔地から困りごと解決に向けた相談を開催し、シニアに寄り添って、少しでもオンラインでのコミュニケーションに慣れてもらえるように補助しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

Mail: t.kawabori.chiikiokoshi@gmail.com（個人）

TEL.: 0258-39-2260（長岡市役所 地域振興戦略部）

基本情報



【年 齢】
29歳
【出身地】
熊本県熊本市
【転出元】
福岡県福岡市
【前 職】
キャリアアドバイザー
【活動時期】
R3.9～R4.10

協力隊に応募したきっかけ

地元熊本の役に立っていると実感できる仕事をしたいと思ったことがきっかけです。
地域創生に関心があり、前々職でも国や自治体の地域創生事業の企画運営に携わりました。

「eスポーツ」は未開拓分野でしたが、地域の方と直接かわる機会はこれまでなかったので、今回の協力隊の募集が拠点を活用でき、あらゆる世代の方と交流できるところを魅力に感じ応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

現在活動しているeスポーツとデジタルの拠点「うきのば」が遊べる、学べる場であるだけでなく、地域の方の「居場所」「よりどころ」になれるよう、一人ひとりとの関わりを大切にコミュニティづくりをしていきたいです。

また、取得予定のキャリアコンサルタント資格を活かして、eスポーツ人材のキャリア支援や、eスポーツ使ったキャリア教育・サポートを行っていききたいです。

活動内容

●通称は「うきのば」のおねえさん。幅広い世代の方交流中

空きスペースを活用して、熊本県内初のeスポーツ×デジタルの拠点うきのばが2023年1月OPEN。準備の段階から携わり、10月末までに累計イベント数84件、来場数8000人超の拠点に。来場者と積極的にかかわり、ユーザーの声を拾い集めるコミュニティマネージャーとして活動。イベント企画等行っています。



●予約不要の「スマホなんでも相談所」

定例のスマホ講座に加えてイベントがない時間帯でスマホの操作補助等を一人ひとりにあわせて対応。
「思い立ったときに気軽に聞けるのが心強い。」
「うきのばがあってよかった。」というお言葉も。お饅頭やコーヒーを差し入れいただいたり、地域の方と親しくなるきっかけにもなっています。



●保護者とともに子どもの成長を見守る地域の一員

親子での来場が多く、子どもの成長を見る機会が多々あります。学校でおとなしい子がゲーム内でリーダーシップを発揮、なんてことも。気づきがあれば都度保護者の方にシェアしています。毎月2回プログラミング講座も実施しているので、可能性や選択肢を広げることに貢献できればと考えています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス(うきのば)) uki.espo@gmail.com
(電話番号(市長政策課直通)) 0964-32-1803

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(うきのばHP) <https://www.ukinoba.com/>



HP



LINE